

北白河宮家和子さま、道の駅「よつくら港」来訪のこと

和子さま
お付きの人

直売所の店員
フードコートのお店員たち
フードコートのアナウンス

運転手
作業員たち

その他、お客たち

道の駅、一階、直売所。レジに店員が一人立っている。
数人の客が、並べられた産地直産品を見て歩いている。

和子（わこ）さまとお付きの人が来る。

お付きの人「こちらは海産物でございますね」

お付きの人「これは、ワカメを乾燥したおつまみのようです」

お付きの人「これは、今朝、採れたお野菜でしょうか」

お付きの人「温泉タマゴです」

お付きの人「みな、新鮮なものばかりでございます」

和子さま、しばらく、陳列された品々を見て歩く。

お付きの人「何かご所望になりますか」

和子さま「そうですね。では、この土地ならではの、この土地でないと手に入らないもの
を買い求めましょう」

お付きの人「かしこまりました」

お付きの人「この土地ならでは、この土地でないと手に入らないものはこのあたりに売っていますか？」

客「あ。ちょっと、私は」

お付きの人、レジへ行く。

お付きの人「このへんの品々は、この土地ではないと手に入らないのでしょうか」

店員「ええ。ほとんどそうですけど」

お付きの人「そうですか。そうですね。直売所と書いてありますもの。ここの漁師の方々、農家の方々が、とれたての海のもの山のを売っていらっしゃるのでしょうか。恐れ入ります。何か、これこそがこの土地ならでは、というものはありますか」

店員「はあ。……そうですね」

和子さま「あ。……これにします」

お付きの人「いちじくを使ったきんつばですか」

和子さま「二つ、買いたいんですけど」

お付きの人「かしこまりました」

お付きの人「これをお買い上げになります」

店員「はい」

店員、レジを打つ。

店員「216円です」

店員「ありがとうございましたー」

和子さま「駅で、飲み物を買って、帰りの電車で、それをいただきます」

お付きの人「はい」

お付きの人「二階は、フードコートになっているようです」

和子さま「そうですか」

お付きの人「こちらでございます」

二人、階段をのぼる。

二階。フードコート。

ラーメン屋。そば屋。海鮮丼屋。それぞれに店員がいて、販売機がある。

テーブル席に客数名が食事をしている。注文したものを待つ、運転手と作業員たち。

アナウンス「本日はご来店いただきありがとうございます。当店のご利用方法についてご説明いたします。まず、券売機でチケットを購入していただきます。チケットの番号がアナウンスされますので、窓口へお越しください。チケットと引き換えに商品をお渡しいたします。お食事が終わりましたら、返却口まで食器を返却してくださいますようお願いいたします」

アナウンス「130 のお客様、窓口までお越しください」

店員「鴨南蛮そばです」

運転手、受け取り席に運び、食事をする。

アナウンス「131 番のお客様、窓口までお越しください」

店員「豚汁定食です」

作業員 1、受け取り席に運び、食事をする。

アナウンス「251 番のお客様、窓口までお越しください」

店員「味噌ラーメンです」

作業員 2、受け取り席に運び、食事をする。

和子さまとお付きの人、来る。

和子さま、しばらくそれぞれにテーブルを見て回り、みなに微笑みかけ、高貴な身振りで手を振る。

お付きの人「何かお召し上がりになりますか」

和子さま「いえ」

お付きの人「では、ご見学だけということで」

和子さま「はい」

和子さま、お付きの人に、耳打ちする。

お付きの人「かしこまりました」

お付きの人「それではみなさま、こちらの北白河宮和子さまから、お言葉を頂戴したいと存じます」

作業員1「誰？」

作業員2「さー」

和子さま「先ほど買い求めましたお菓子を包んでいる袋にこう書いてありました。賑わいとふれあい、笑顔とやさしさが交差する町、よつくら、と。この言葉通りのみなさまのやさしさを私の胸に納め、これからも旅を続けて行きたいと思います。ありがとうございました」

お付きの人、一人で拍手する。

お付きの人「和子さまは、全国の道の駅をめぐる旅を続けていらっしゃいます。みなさまと一緒に時間をお過ごしになられたことを、印象深い思い出として、これからも、日本の未来に向けて、希望の微笑みで満たす旅をお続けになることでしょうか。名付けて、みちゆく笑みで満たし旅。……みなさま、ありがとうございました。和子さま、ありがとうございました」

客が来る。

店員「こちらの券売機で商品をお選びください」

アナウンス「252番のお客様、窓口までお越しください」

店員「特選海鮮丼です。特選海鮮丼の方」

作業員1「あ、おれだ」

店員「どうぞー」

作業員 1、受け取り、席に運び、食べる。

作業員 2 「お前、食い過ぎだろ」

和子さま 「海が見えますね」

和子さま、お付きの人に耳打ちする。

お付きの人 「和子さまが、海を見たいとおっしゃっていますが、こちらの方からテラス席に行ってもいいのでしょうか」

客 「え、あ、大丈夫じゃないですか」

和子さまとお付きの人、テラスから海を見る。

和子さま 「これが、太平洋ですか」

お付きの人 「……JR 常磐線の四ツ倉駅に、いわき行きの電車が参りますのが 17 時 14 分でございます。そろそろここを出た方がよろしいかと。そうでなければ、早足、いいえ、駆け足と申しましょうか、むしろ急ぎ足となることをお心得くださいませ」

和子さま、眩しそうに海を見ている。

お付きの人 「……あの、和子さま。お時間でございます」

和子さま、海を見ている。